

CONTENTS

- 2 新川和江賞
- 4 いばラッキー通信vol.4
- 6 公共下水道を利用の皆さんに下水道課からのお願いです
- 6 本市の地方創生に関する主な取り組みと人口推移についての報告
- 8 市民のページ
- 10 ゴミレンジャー
- 10 結城ブランド
- 11 ひとの人権わたしの人権
- 11 男女共同参画社会
- 12 シリーズ介護保険
- 12 けん口広場2019
- 12 菜
- 13 健康増進センターだより
- 13 市民健康教室
- 14 ゆうき図書館からのお知らせ
- 14 市民団体活動レポート
- 15 魅力ある市内企業をPR

表紙の写真

「第19回結城シルクカップロードレース大会」詳しくは市民のページをご覧ください。

2019 いきいき茨城ゆめ国体  
バレーボール少年女子  
結城市開催まで  
3月1日  
あと215日




第11回 新川和江賞 ~未来をひらく詩のコンクール~

# 第11回 新川和江賞

## 未来をひらく詩のコンクール

### 創設11周年

2月10日、市民情報センターで、第11回新川和江賞「未来をひらく詩のコンクール」の表彰式が行われました。  
新川和江賞は、市民情報センターとゆうき図書館の開館5周年記念事業として、本市の名誉市民であり、ゆうき図書館の名誉館長の詩人・新川和江さんの名を冠して創設された、詩のコンクールです。今年度からは、詩人・武子和幸さんが選考委員長を務めます。  
式には、受賞者の皆さんが参加し、優良賞の受賞者による「花の名」の群読、新川和江賞・優秀賞の受賞者による受賞作品の朗読が行なわれました。  
今回は、市内在学・在住の小・中・高校生から2,060篇もの応募がありました。

### 受賞者に寄せて

新川和江賞（最優秀賞）には永井心海さん（山川小学校2年）が輝き、優秀賞には9人が、優良賞には31人が選ばれました。  
武子さんは、新川さんに郷里・結城への思いを尋ねた際のエピソードを交え、「これからも結城の大地に根差した豊かできましい感受性を育ててほしいと思います。詩が未来をひらき、新しい文化を作り上げていくと思います」と話され、会場は大きな拍手で包まれました。

あつ来た。ヤモリ  
山川小学校2年 永井 心海

ママ おいで  
今年も  
ヤモリが まどに 来ているよ  
あそびに来たよ  
夏になると いつもくるね  
ママ おいで おいで  
見てごらん  
しずかに ゆっくり おいで  
赤ちゃんヤモリが  
ごはんをたべに来たのかな  
ママ おいで おいで  
ヤモリの足のゆび よく見えるね  
まどにすいついてる。  
あつしたを出した。  
おいしい虫がいるのかな？  
あつうごいた。  
また虫がいたかな  
何がおもしろいんだらう。  
ずーっと見ていてもにげないね。  
あしたもくるかな  
あしたのよるも楽しみだなー

短評  
おうちをまもってくれるという（ヤモリ）を、今年も窓ガラスに見つけて、（ママ）おいで、おいで、（しずかに）ゆっくりおいで」と、くりかえしよぶ小さな小さな声が、そのよるこびをなんといきいきとあらわしていることでしょう。キッチンもテーブルもみんなしーんとしずまりかえって、ママも、詩をよんでいるわたしたちも、永井さんとおなじように、みんな息をこらして、（赤ちゃんヤモリ）を無心に見つめて、その小さな生きもののいのちをいつくしんでいるような気持ちになりますよ。  
（ヤモリ）が窓ガラスに（すいついて）いるすがたや、（足のゆび）のふしぎなカタチや、虫をたべようとしてちろりと出す（した）の動きや、おなががゆっくりくねるようすなど、ヤモリという生きものぜんたいが、まるで目のまえて動いているように見事に書かれています。そのような詩が書けるのは、永井さんが、ゆたかなしぜんの中できいきと生活しながら、毎日くりかえし見ているささやかなおどろきと、生まれてはじめて見るようなおどろきと、かんとどうで見るようにできるすばらしいこころの目をもっているからです。

問 ゆうき図書館 | ☎ 34-0150

### 新川和江



昭和4年、結城郡絹川村（現結城市）小森に生まれる。結城高等女学校時代に、詩人西條八十から詩の手ほどきを受け、戦後上京し詩や小説を執筆する。

昭和35年には第9回小学館文学賞、平成20年には丸山薫賞など数多くの賞を受賞。

平成13年、結城市名誉市民の称号を贈られ、平成16年には、ゆうき図書館名誉館長に就任。平成24年、結城紬大使に就任。平成12年、勲四等瑞宝章受章。

### 武子和幸



昭和13年、東京都に生まれる。茨城県日立市で育ち、茨城大学卒業。詩誌「白亜紀」同人。作品に「蛞蝓の夢」、「イエイツの影の下で」、「アイソポスの蛙」などがある。

（一社）日本詩人クラブ元会長。茨城県芸術祭文学部門実行委員長。茨城新聞「詩壇」選者。平成30年から「新川和江賞」未来をひらく詩のコンクール」選考委員長に就任。